

AASは『正しい答えではなく、論理の妥当性で勝負する』スタイルの診断士受験専門機関です。

AAS名古屋

この解答例は、11月16日10:00 現在のものです

AAS（アソシエ・アドバンス・スクール）は、中小企業診断士2次試験に特化した受験機関です。過去問を基軸に置いた学習で、スーパーフレームワークや設問分解練習法など独自の2次試験攻略法を開発してきました。AASでは「表現力×構成力×与件活用力」で答案を作成しています。

【令和2年度・第2次筆記試験】事例I（組織・人事戦略）

この模範解答例は
AAS名古屋が作成しました。

第1問（配点40点）

（設問1）（100字）

ビジョンは、①飲食店や旅館の経営ノウハウによりA社の経営を立て直し、歴史ある酒造事業を継続させること、②老舗ブランドをグループ全体で訴求することで、インバウンド客を獲得し、地域を活性化すること、である。（100字）

（設問2）（100字）

理由は、①ベテラン従業員の持つ酒造りノウハウを承継することで、製品開発力の維持向上を図るため、②前経営者と経営顧問契約を結ぶことで、経営の急激な変化を避け、従業員の混乱とモラル低下を防ぐため、である。（100字）

第2問（配点20点）（100字）

手順は、①ベテラン女性社員と共に働きながら複雑な事務作業や取引先との商売をマニュアル等で形式知化し、②業務の流れを改めて整理し、業務の改廃や運用の改善を検討した上で情報システム化を進めた、と考えられる。（100字）

第3問（配点20点）（100字）

能力は、①レストランや土産物店、グループ企業等の直販店の顧客と会話し、市場動向やニーズを見抜く洞察力、②市場動向やニーズを杜氏や蔵人に伝え、酒造りに活かすことができるコミュニケーション能力、である。（99字）

第4問（配点20点）（100字）

留意点は、①血縁関係を排除し、成果に基づく役員登用を実施することで、家族主義から脱却し、公平性を高めること、②経験や勤による評価でなく、目標管理制度を導入することで、透明性と納得性を高めること、である。（100字）

文責：AAS名古屋 鷲山はるこ

無断転用・転載を禁じます。